

2011-12年度 環境サロン「自転車のまちづくり」予定

担当者 村上ひとみ

	予定日	テーマ	考える素材と課題
1	2月8日 (水)	自転車利用の将来性と課題 (村上ひとみ)	自転車まちづくりの課題について、ハード、ソフトの両面から整理して話します。(自転車レーンの意義、国内の取り組み事例、自転車事故の原因と分布、左側通行の大切さなど)
2	2月29日 (水)	大分市のバイシクルフレンドリータウン取組 (大分市・松尾裕治)	平成19年より自転車通行環境整備モデル事業に取り組んでいる大分市の方に「バイシクルフレンドリータウン」の施策を紹介していただきます。
3	3月24日 (土)	自転車利用者の体験報告 および実走行体験 (高橋成次)	自転車を平生利用している人の感想を述べてもらい、その効用や走行ルール、走行環境整備の現状について考えます。その後、実際に町を走行してみて、議論の内容を実感します。
4	4月18日 (水)	自転車の利用とまちづくり～外国の事例 (石井 隆)	環境首都ドイツのフライブルグを例として、環境にやさしい交通まちづくりについて考えます。
5	5月9日 (水)	コミュニティバイクの可能性と自転車マナー教室 (UNCCA・兼久威矩)	レンタサイクル調査や社会実験「駅チャリ・うべ」の結果をふまえた話題、マナー教室と意見交換
6	5月23日 (水)	自転車の手入れ、リサイクル (自転車商組合・山大エコファーターズ)	自転車の手入れ、長持ち、Reチャリクルの取り組みや、放置自転車を活用する場合の問題点、最終処分などについて、考えます。
7	6月13日 (水)	自転車利用を魅力的なものにするまちづくり (鈴木春菜)	自転車に乗って、風景や雰囲気を楽しみながら、走りたくなるような'まち'とは？またそのためにはどんな諸条件が必要かなどについて、考えます。

補足

1. 本シリーズはうべ交通まちづくり市民会議(うべこまち)と宇部市まちなか環境学習館の共催として実施します。
2. 開催日はやや不定期ですが、2月8日から6月18日まで、水曜日を中心に毎月1、2回の開催です。開催日に注意願います。なお、3月24日土曜日は14:00～の開催ですのでご注意ください。
3. 19:00～20:30 の1時間半のうち、前半は話題提供者からの問題提起、後半は参加者間の討論を基本とします。レジュメと動画の準備を話題提供者と運営責任者が行います。
4. 成果報告は、形にして、ポータルサイトに残します。また、エコフェアなど、別に発表の機会を設けます。

資料代は会場費を含め、300円を毎回納めていただきます。

駐車スペースがあまりないので、できるだけ、自転車等でお出で下さい。

平成24年度環境サロン「世代間の対話～混迷の現代をどう生きる」

担当：河口隆・末次信宏・松井和人

いまは、モノはゆたかになりましたが、ココロのゆたかさが求められる時代です。講座名はかたくむずかしげですが、人間と情報・しごと・自然、など自分を取りまくさまざまな環境の関係について、根っこの所から考えてみようとするものです。気楽に話しあえる、とっかかりの場にしたいと思います。

	予定日	テーマ	考える素材と課題
1	4月12日 (木)	地球環境時代の人の生き方 (浮田正夫)	このシリーズの狙いと、今求められる、環境倫理の必要性について、考えるところをまとめ、青年に語りかける。
2	4月26日 (木)	地球環境時代の人の生き方 (アスガル・アリ)	このシリーズの狙いと、今求められる、環境倫理の必要性について、考えるところをまとめ、青年に語りかける。
3	5月10日 (木)	若者が考えること (河口・末次・松井)	青年を取り巻く、経済環境、情報環境、若者の価値観などについて、ネットカウセリングを通して考えることをまとめ、旧世代に語りかける。
4	5月24日 (木)	若者が考えること (河口・末次・松井)	青年を取り巻く、経済環境、情報環境、若者の価値観などについて、日頃考えることをまとめ、旧世代に語りかける。
5	6月14日 (木)	お寺の住職として考えること (西光寺 佐々木真人)	仏教における人と環境の間の関係のとらえ方について、紹介し、いまお寺に期待されることについて、考えるところを述べる。
6	7月12日 (木)	教会牧師として考えること (緑橋教会 小畑太作)	キリスト教における人と環境の間の関係のとらえ方について、紹介し、いま教会に期待されることについて、考えるところを述べる。
7	8月9日 (木)	インドネシアの自然と人間 (工学部留学生Novi Arfarita)	イスラム教における人と環境の間の関係のとらえ方、なぜイスラム教が砂漠と熱帯雨林の国に信仰されているかについて、考えるところを述べる。
8	9月13日 (木)	教育に携わって考えること (伊藤瑞生)	小学校の先生として、長年勤めた経験から、現代の教育環境の状況について紹介し、考えるところを述べる。
9	9月27日 (木)	こころのエコロジーと文化 (星野 晋)	文化人類学の立場から、国際協力における文化摩擦、グレゴリー・ベイトソンの「精神の生態学」も紹介しながら、高齢化の進む社会のあり方について考える。

補足

1. 本シリーズは宇部市まちなか環境学習館の主催で実施します。場所は銀天エコプラザ3階のミーティングルームです。
 2. 開催日は原則、4月から9月まで、第2木曜日です。あと4, 5, 9月は第4木曜日も開催します。
 3. 19:00～20:30 の1時間半のうち、前半は話題提供者からの問題提起、後半は参加者間の討論を基本とします。レジュメと動画の準備を話題提供者と運営責任者が行います。
 4. 成果報告は、形にして、ポータルサイトに残します。また、エコフェアなど、別に発表の機会を設けます。
- その都度、参加も認めています。今シリーズはできれば第1回目に9回分の資料代を含めて、申し込みをいただければと思います。その都度参加の場合は、資料代は会場費を含め、300円を毎回納めていただきます。
- 駐車スペースがあまりないので、できるだけ、自転車等でお出で下さい。

平成24年度環境サロン「ごみと化学物質」 午後及び夜間 担当:西村誠・浮田正夫

循環型の持続可能社会づくりは現在の重要な課題です。このシリーズでは身近なごみ問題、化学物質の問題を取り上げ、循環型社会の形成のために、われわれはどう考えればいいのか、どう行動していけばいいのか、一緒に考えたいと思います。

	予定日	テーマ	考える素材と課題
1	5月31日 (木)	ごみ問題について (浮田正夫)	ごみについて考えなければならない問題点を整理して説明し、今後どのように考えていかなければならないか、議論する。あわせて本シリーズのねらいについて説明する。
2	6月7日 (木)	身近な化学物質について (西村誠)	現代の生活はさまざまな化学物質の恩恵を受けている。化学物質は身近なところで使われている化学物質、存在している化学物質について整理して説明し、どのような点に注意が必要かについて、議論する。
3	6月21日 (木)	災害廃棄物について考える (浮田)	東日本大震災と津波、それに続く原発事故によって、大量の災害がれきが発生し、放射能問題も絡んで、その処理処分をどうするのか、国の考え、地方の考え、市民の考えがかならずしも一致していない。どのように考えるべきか、実態を説明しながら議論する。
4	7月5日 (木)	工場からの化学物質の排出 PRTRとは (西村)	化学工場をはじめとして、工場群等からはさまざまな臭気が排出されるが、最近は随分状況は改善されている。PRTRは生産現場などで化学物質がどの程度製品中や廃棄物中あるいは、排水、大気中に排出されているのか、収支を推定して、毎年報告する制度である。
5	7月19日 (木)	ごみを燃やす (浮田)	日本では、ごみ処理の柱は焼却炉でごみを燃やすことである。しかしごみを燃やすにも多くのエネルギーを消費し、焼却灰の処理・処分も必要になる。また食べ物由来のごみも燃やしてしまうと、有用なミネラル類も土に戻すことができない。このあたりの問題点について考える。
6	8月2日 (木)	金属ごみのリサイクル (鈴木祐麻)	金属ごみは都市鉱山といわれるくらい貴重な資源である。とくに小型家電や電子製品などにはレアメタルといわれる希少な金属資源を含んでいる。
7	8月16日 (木)	微量化学物質の水生態系に及ぼす影響について (関根雅彦)	水系に排出される可能性のある微量化学物質の水生生物に与える影響について、実験結果をまじえながら説明する。
8	8月23日 (木)	化学物質と子どもの健康 (後藤日出夫)	化学物質と子どもの健康に及ぼす関係について、説明する。
9	9月6日 (木)	重金属汚染公害問題の歴史 からの教訓 (西村)	水俣病やイタイイタイ病など典型的な公害を振り返り、激しい産業公害はなぜ発生したのかについて議論する。

補足

1. 本シリーズは宇部市まちなか環境学習館の主催として実施します。
 2. 開催日は5月から9月まで、不定期の木曜日です。原則として同日に昼の部(14:00~16:00)と夜の部(19:00~20:30)の2回行います。
 3. 1時間半のうち、前半は話題提供者からの問題提起、後半は参加者間の討論を基本とします。レジュメと動画の準備を話題提供者と運営責任者が行います。
 4. 成果報告は、形にして、ポータルサイトに残します。また、エコフェアなど、別に発表の機会を設けます。参加料は資料代・会場費を含め、300円を毎回納めていただきます。その都度、参加も認めていますが、できれば第1回目に9回分の資料代を含めて、申し込みをいただければと思います。
- 駐車スペースがあまりないので、できるだけ、自転車等でお出で下さい。

